

## すくすく泉事業採択・評価委員会 議事要録

○日 時	平成 30 年 6 月 25 日 (月) 午後 6 時 25 分～ 7 時 35 分
○場 所	武蔵野芸能劇場 小ホール
○出席委員	榎田委員長、吉田副委員長、松田委員、藤野委員、鶴川委員、伊藤委員
○事務局	子ども政策課長、子ども育成課長 他

### 1 開会

事務局より資料確認

### 2 議事

- (1) 平成 29 年度事業実績について
- (2) 平成 29 年度第 2 回委員会意見への対応状況

#### ※運営団体NPO法人いずみの会が入場

<平成29年度事業実績、平成29年度第2回委員会意見への対応状況について説明>  
いずみの会より以下の説明があった。

#### 【いずみの会】

実績報告については資料1、2のとおりなので、要点を絞って説明したい。全体として、各事業とも大きな怪我や事故なく、平成29年度を終えることができた。ひろばと保育の連携のプログラムとして、保育士がリードする「パパと遊ぼう」や、合同のお楽しみ会などを始めてみた。保育園とひろばが一体となっている施設の特徴を活かした取り組みを平成30年度も続けていこうと考えている。研修については、有料研修に補助金をつけたことで、意欲のあるスタッフが受講しやすくなり、より幅広い学びができるようになった。まだ制度を活かしていないスタッフもいるので、徐々に活用してもらいたい。

ひろば事業については、3年目となり、利用者同士のつながりができ、みんなで協力し合って子育てをしていくという姿が良く見られるようになった。誰が誰の子どもか分からないという瞬間がよくある。利用者をお客様にせず、一緒に良い場所を作っていきましょうという姿勢をスタッフが続けてきたことが結果に出た一年だったと思う。困難を抱えた利用者に対しては、スタッフで情報共有をしながら対応を話し合っている。基本的には、どんな人でもほっとする受け入れ態勢をと、その人ごとに考えている。

1月からはママ部活という活動を開始した。週に1度、1時間だけだが、スタッフが子どもを見守り、利用者同士で話し合っ何か活動につながれば、ということで始めた。最初は防災というテーマをスタッフから出したところ、意外に活発に動き始め、乳幼児を持つ親のための防災対策情報集めや、市の防災課職員を招いての講習会を実施し、いまは公園を使って防災訓練ができないかということを話し合っている。内容も大事だが、子ども

以外のことに集中したらすっきりしたという、意外なストレス解消にもなっているようだ。部員は固定せず、そのとき来た人が参加できるよう、スタッフが1名入っている。

ボランティアについては、引き続き地域の方が読み聞かせやプールの見守り、手作りのおもちゃづくりなどに協力してくれて、非常に助かっている。今後、中高生のボランティア参加も促したい。

中町集会所での collabono（こらぼの）コミセン親子ひろばは、すすすく泉よりもやや年齢層が低いこともあり、穏やかに開催を続けている。終了後にお母さんたちでランチ会があり、おしゃべりを楽しんでいる。

一時預かりについては、安心、安全で子どもたちが楽しく過ごせるようにと工夫を続けてきた。1対1にならないシフトが増えたため、チームで預かりをするということ、話し合いを進めながら実践してきた。地域ですすすく泉が認知されたことで、お試しでのビジター利用をせずに、いきなりメンバー登録をする人が大半となり、また登録後すぐに利用という人が増えている。予約開始日を月に2回とし、1日で取れる予約件数を3件までとしたことで、時間は短くても、家で子育てをしている親が、困った時やリフレッシュに使うということができるようになり、予約が取れないというクレームは減った。課題としては土曜日、夜間のスタッフ手配が難しいことがある。利用自体が少ないので何とかしているが、決まったスタッフが勤務できないときは、対応が難しくなるかもしれない。今後利用が増えてきたら利用方法やスタッフ体制を見直さなくてはならない。

小規模保育については、資料記載のとおりだが、長期間入院となった子どもについて、市で2か月分の保育料を負担してもらえ、ありがたかった。保護者にも丁寧に対応し、子どもは元気になって無事卒園して次の園に移ることができた。

保育は毎年違う子どもが入園して、雰囲気も変わってくるので、一人一人の発達を保障するために、姿の読み取りを丁寧にして、安心、安全な保育を積み重ねること、保護者との連携が何よりも大切である、ということはいままでと変わっていない。これまでとは異なる29年度の実績としては、研修が充実したことが挙げられる。これまでも子どもとの関わりに重点を置いていたが、もっと食育に焦点を当てたり、ビデオを見て関わり方を具体的に勉強したりと、スタッフがやりたい内容を提案して、それに沿った内容で研修を行うことができた。そのほか、卵アレルギーの対応と、スタッフが2名増えたことが大きな変化だった。

<収支計算書については資料3、平成29年度第2回委員会意見への対応状況については資料4、委員の事前質問への回答については資料5のとおり説明がなされた。(省略)>

<質疑応答>

以下の質疑応答が行われた。

#### 【委員】

勤務状況の資料について、通常、外、とあるのはどういう意味か。

#### 【いずみの会】

常勤職員について、変則シフト制のため、1カ月をトータルして8時間かける所定労働日数を超えた場合に「外」と記載されている。ただし、8時間勤務だけでなく6時間勤務でも常勤という形を取っている。

**【委員】**

ひろばスタッフについても同じ形か。

**【いずみの会】**

常勤3名のうち1名は8月まで常勤で、以降は非常勤。事務の1名は、7月から新たに常勤になった。こちらも6時間勤務で常勤になる。

**【委員】**

もともと勤務表というのは作っているのか。

**【いずみの会】**

タイムカードはないが、出勤簿を付けて、それをまとめたものがある。

**【委員長】**

この表を提出してもらった意図を教えてください。

**【委員】**

実際にどのくらいのスタッフが常時いるのかということと、いま働き方改革などで、残業が厳しいので、そのあたりがどう管理されているかを見るためだ。また、非常勤職員の勤務状況の管理についても、説明してもらいたい。

**【いずみの会】**

一時預かりのシフトに関しては、予約に対して組むことになるので、予約次第となる。

**【委員】**

1か月単位で組むのか。それとも1週間くらいか。

**【いずみの会】**

前々日の午後4時まで予約を受けており、そこで仮のシフトを組む。また、キャンセルも含めて予約が確定するのが前日の4時になるので、そこから確定のシフトを作るという作業を毎日繰り返している。シフト担当が4名おり、曜日ごとに担当を置いて作業している。

**【委員】**

一時預かりについて、最大で何人の保育者が入るのか。

**【いずみの会】**

同時に5人を預かるので、その場合、規定で3人は必須となるが、ほとんどの場合、5対4か、5対5になる。赤ちゃんだったら必ず1対1で、大きい子は少し保育者を減らしている。

**【委員】**

5人に対する最低の人数である3人でシフトを組んでおいて、予約状況でプラスするということはできないのか。

**【いずみの会】**

予約が入らない時間帯もある。朝7時から夜10時までやっているなので、前もっては難しい。

**【委員】**

予約が入らなくても、勤務することはできないのか。

**【いずみの会】**

人件費の問題があるので難しい。

**【委員】**

自分たちの施設では、2人枠で一時預かりを行っているが、利用がなくても常に1名は勤務することにしてている。そうすると緊急の対応も可能で、ひろばに来たが、とても疲れているという人の子どもを受け入れることもできる。

**【いずみの会】**

なるべく余裕のあるシフトにして、緊急の対応もするようにはしている。

**【委員】**

とてもよくやっていると思うが、シフト組みの負担が大きい。

**【いずみの会】**

毎週どこのシフトに入れるか、スタッフに前もって聞いていて、急に予約が入った場合には、シフトに入れるスタッフに急きょお願いの電話をしている。

**【委員】**

働く人も、予定を開けておく必要があるというのが厳しい。

**【いずみの会】**

今は、前々日の予約が入った時点である程度分かるという状況だ。前日の確定後はキャンセル料も60パーセントもらってはいるが、実態としては大変である。

**【委員】**

翌々日のことなので、かなり厳しい。働く市民の善意で成り立っている。

**【いずみの会】**

スタッフには断っても良いと言っているのですが、実際に断られることもある。そのため、シフト担当が苦勞している。

**【委員】**

先にシフトが入っていて、直前でやっぱり無し、というのは嫌だとは思いますが、そうしている施設もある。そのようなやり方はできないか。

**【委員長】**

何か工夫をしたいところではある。

**【委員】**

翌日のこととなると、シフトを組めるかという点でも危険度が高い。

**【いずみの会】**

スタッフの働くことに対する満足度は高いが、善意で成り立っている部分がある。

**【委員】**

シフトを組む人がもし変わった時に、他の人が同じようにできるかということもある。

**【いずみの会】**

キャンセルになったときに、利用料が入らないので、人件費の部分が一番怖い。そのため、ぎりぎりまで調整をしている。

**【委員】**

保育園によっては、土曜日など、子どもの利用が分からない場合にも前もってシフトに入っていて、利用がなければ勤務なし、という事例もあった。そういうやり方もできればと思ったが。

**【いずみの会】**

来る子どもが決まっていれば、決まったスタッフを配置できるのだが、子どもによる部分があるので難しい。

**【委員】**

利用がない日は、あまりないのか。

**【いずみの会】**

利用がないという日はない。シフト組みも、子どもによって、大きい子が得意なスタッフはそういう子につけて、抱っこ必要なという子には抱っこができるスタッフをとるところまで考慮して組んでいる。スタッフが協力的なことに助けられている。

**【副委員長】**

勤務表の小規模保育の部分で、6、7、8月は数字がおかしいと思われるので修正してもらいたい。

**【いずみの会】**

誤りなので修正する。

**【副委員長】**

実績報告書の書き方で、効果や評価について主観的な記載が多いので、アンケートを取っているのであれば、そういったことをもとに書いていると示した方が良い。

**【いずみの会】**

今後そのようにしたい。

**【委員】**

避難経路の話だが、あんしんデッキからフェンスを開けて、公園に出られた方が良いということか。

**【いずみの会】**

そういうことだ。

**【委員】**

施設の裏口のルートについては、そこから道路に出られるようになっているのか。

**【いずみの会】**

そのようになっている。

**【委員】**

外部の研修で、他の園の保育の様子を見る機会があったか。

**【いずみの会】**

それはできなかったのですが、今後見に行きたいと話している。ただし「ナースリールーム」のビデオを買って、スタッフで保育者の様子などについて学び、話し合う機会を持った。

**【委員長】**

ここで質疑を終了します。いずみの会の方々はここでご退場ください。

※NPO法人いずみの会が退場

<審議>

【委員長】

それではいずみの会の説明、質疑等を踏まえて審議に入りたい。平成29年度の補助事業が適切に執行されているかどうかについて、意見ををお願いしたい。

【委員】

とても真面目に取り組んでいると考える。

【委員】

避難経路については、対応が必要だといった意見をつけるべきかどうか審議したい。

【委員長】

きちんとした理由が必要だと思う。防災についても色々と考えてはいるようだが、地震や火災、不審者など、それぞれについて対応をしておくことが第一だと思う。その場合に、保育室から公園に出るルートが1ヶ所しか無い状況で大丈夫かどうか。不審者が玄関から入るケースもあるが。

【委員】

公園に出られる道を作っておくと、助けを求めやすい。

【委員長】

防災、不審者対応を考えると、公園に出られる避難経路がもう一箇所あったほうが適切と考える、早急に市と協議対応するようにしてもらいたい、ということ意見を付すこととしたい。

ほかに、一時預かりのシフトの件などはどうか。

【委員】

シフトに常勤が少なすぎる。補助金額1千万円というのは、テンミリオンハウスになっているものと思われるが、必要な予算をつける必要があるのではないか。

【委員】

いつもスタッフは多いイメージがある。一時預かりも5対5で見ていることも多い印象だ。

【委員】

単発のレスパイトの子どもは慣れていないので手間もかかる。丁寧にやっていることはよく分かる。こういう手配の仕方では、シフト担当が倒れた場合などが大変だ。ファミサポに近いようなマッチングもしている。シフトにゆとりを持たせて、利用がキャンセルになった場合はひろばに回るとか、事務に戻るとか、地域との連携に出るとか、なにかできないか。非常勤のスタッフがこれだけ協力的であれば、有効に入ってもらえるような工夫があればいい。

【委員長】

では、どのような意見とするか。

**【委員】**

結局お金がかかる。ひろばや一時預かりは人件費がほとんどだ。

**【委員長】**

環境がある程度整えば、必要な経費は人件費ということになる。

**【委員】**

慣れていない子どもを大勢預かっているので、丁寧に対応する必要がある。

**【委員長】**

シフトの手配をもう少し効率的にすることを意見で求めるか。

**【委員】**

たしかに現状では負担が多い。

**【委員】**

シフト担当にサブ担当をつけるとか、うまく負担が減らせないか。担当だけが分かっているというのはリスクもある。

**【委員長】**

それでは「平成 29 年度については、事業計画に基づき適切に事業が実施されていた。平成 30 年度においても、事業計画に基づき着実に事業を実施してもらいたい。防災対策、不審者対応に関して、避難ルートの新設が必要と思われる点、一時預かり事業のシフト担当の負担が大きすぎる点については、市と協議して適切に対応してもらいたい」という意見を付すこととしたい。

3 閉会